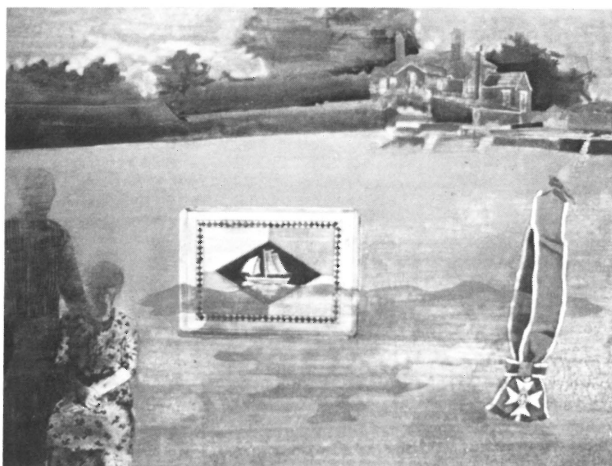


家伝・自叙伝（日本画） 伴 百合野



家 伝 6 F



自叙伝 6 F

古い歴史をもつ家伝は、あたかも一人の人格を持っているように思えます。陰鬱であったり、勲章を誇りとしたり。一人の人間はその形成の立て役者にすぎません。

また、全く自分で書いた自分の伝記だと考えていた自叙伝は、逆に自分であって自分ではないものを感じさせられます。自分の中に否が応でも祖母や会った事もない先人が住みついているのです。それは集積であると同時に霧散となりうるものなのです。